

ガレキ受け入れ問題について

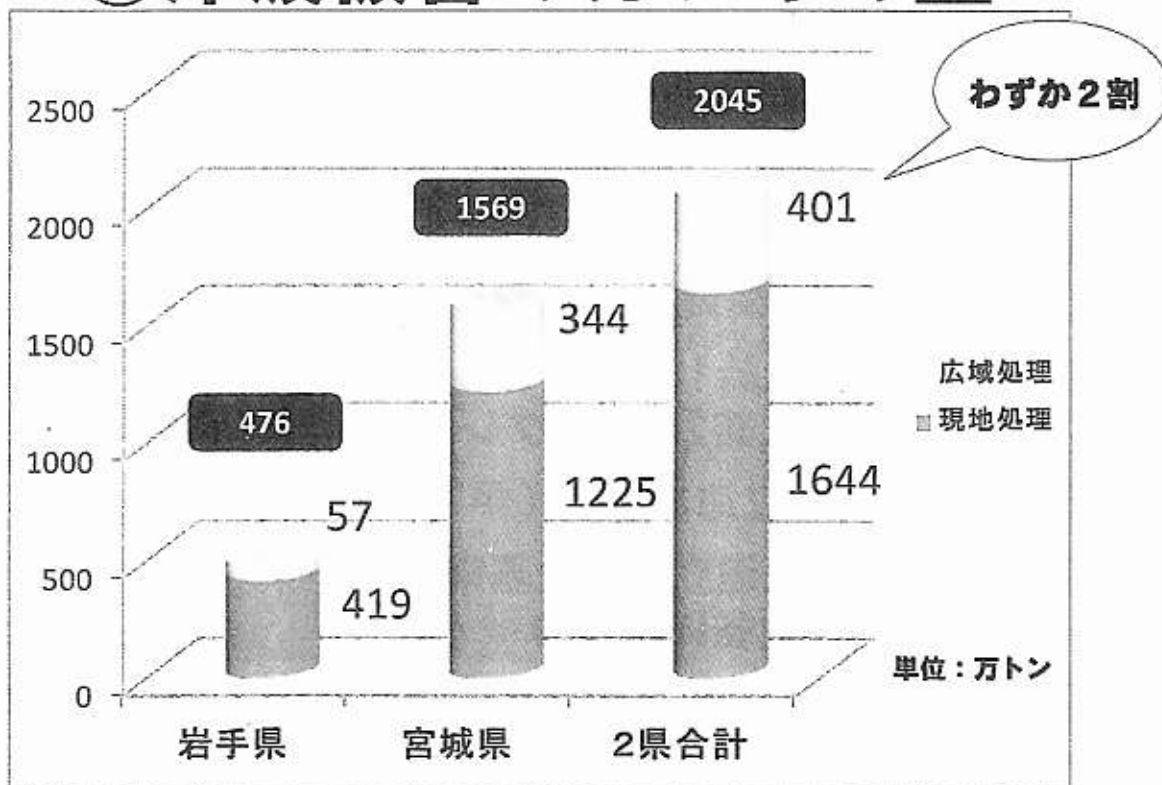
平成24年3月3日（土）

@大阪市立市民交流センターよどがわ

大阪市会議員 北野たえこ



①津波被害のガレキの量



②広域処理とは

岩手・宮城県では、1日も早い復旧復興に向けて災害廃棄物処理を図ることとし、環境省が全国の自治体にガレキの処理を依頼しました。

ところが、ガレキが

放射性物質に汚染

されていると発覚！

現地処理

安全基準

受入側の賛否

③府の「ガレキ受け入れ指針」

環境省の広域処理方針



府が独自に専門家による
検討会

問題点

- 対象となる放射性物質 : セシウム134・137だけ。
- 安全基準 : 受入時100ベクレル/kg
埋立時2000ベクレル/kg
- 焼却施設9カ所の立地と設備 (炉とフィルター)
- 最終処分地 : 海面埋立の安全基準がない
→環境省に要請中
- 根拠法 : 廃棄物処理法・特別措置法 (複数)
だが広域処理に関しては確実ではない

④大阪の状況

府

松井知事は当初より受け入れに積極的
2月21日岩手県視察
「安全基準を満たせば受け入れる」と明言

市

橋下市長も知事時代から受け入れ派
「松井知事の決定を最大限尊重」

市会

民生保健委員会 1月25日・2月22日
合計24本の陳情書審査（審議継続中）

⑤他都市の状況

大阪府内

受入れ反対：寝屋川/吹田/守口/四条畷/交野/箕面/門真
受入れ検討：大阪市

他府県

受入れ済み：東京都/山形県/青森県/（静岡県島田市）
受入れ撤回：神奈川（横須賀市と川崎市問題）

◎反対理由：焼却炉などのハード面、住民の安全・安心

⑥健康リスクについて

身体的影響 被曝した人への影響 (しきい値あり)

遺伝的影響 子孫への影響 (しきい値なし)

内部被曝を軽視

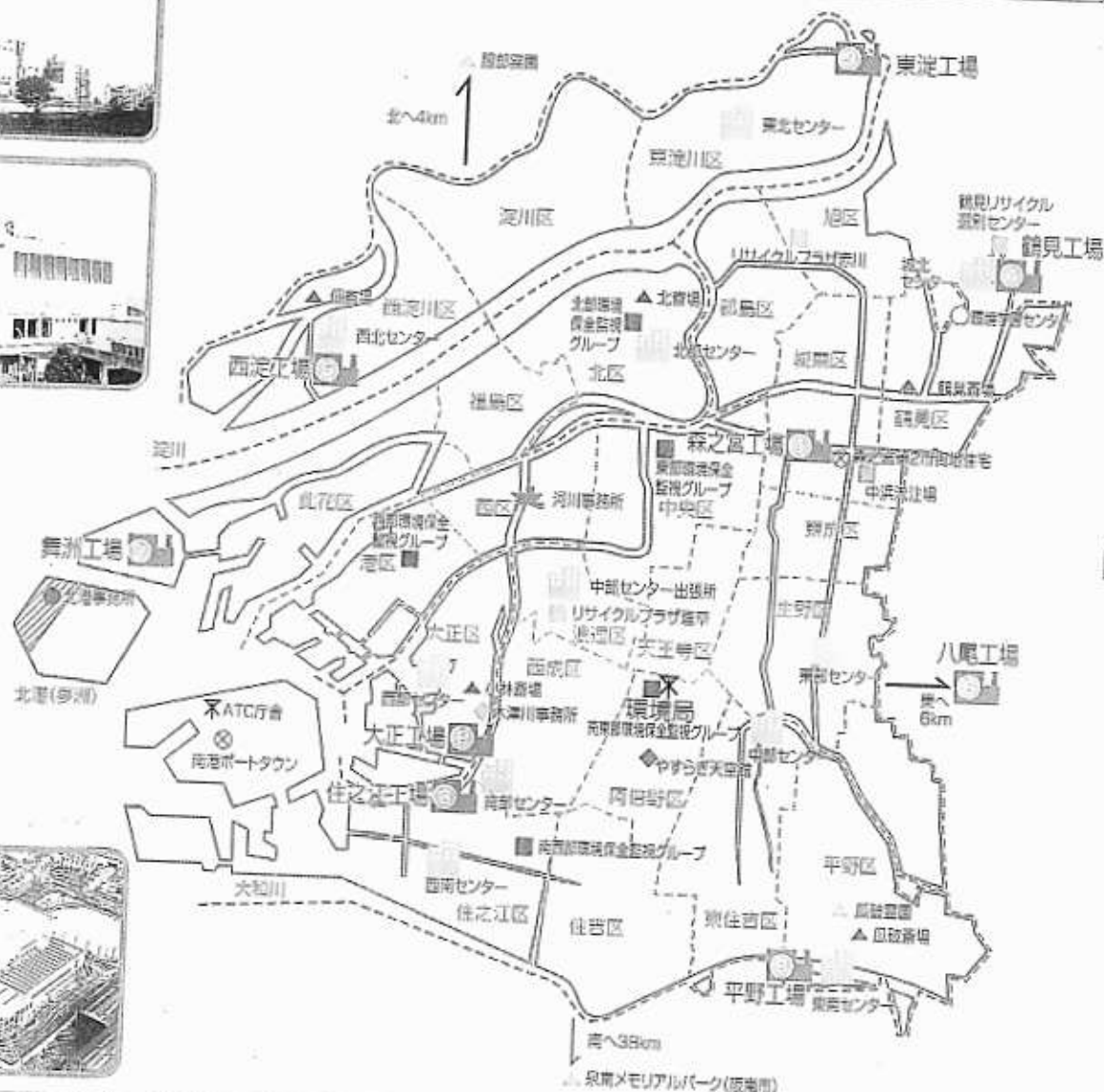
飲食・呼吸を通して
アルファ線・ベータ線 > ガンマ線

⑦本当の被災地支援

- ガレキ受け入れは被災地支援にはならない
- 安全な食品・非汚染地域の確保 (西日本)
- 子供たちの集団避難
- 現地でのガレキ処理を進める
➡ 焼却しないで閉じ込める

施設配置図

..... 環境事業センター リサイクルプラザ 河川事務所
■ し原流注場 リサイクル選別センター	◇ 木津川事務所
■ 工場 環境保全監視団地	● 北浜事務所
▨ 埋立処分地	◆ 野原場	▲ 警備
◎ 電線輸送施設	▲ 新橋	
	○ 環境学習センター (生き生き地球館)	



● その他の事業
施設配置図





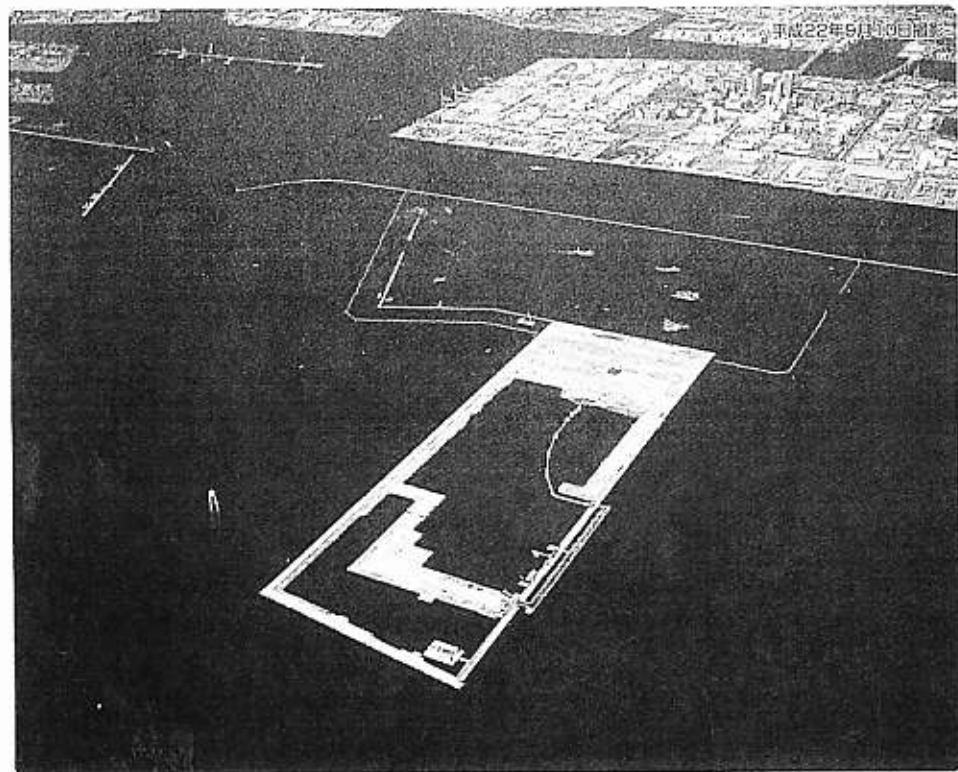
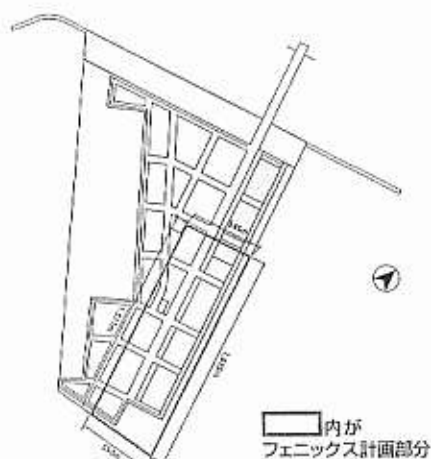
神戸沖埋立処分場

神戸沖埋立処分場(土地利用及び規模)

用途	規模
心頭用地	-
港湾関連用地	66ha
交通拠点用地	3ha
交通機能用地	-
緑地	19ha
合計	88ha



神戸沖埋立処分場土地利用計画図



大阪沖埋立処分場

大阪沖埋立処分場(土地利用及び規模)

用途	規模
心頭用地	-
港湾関連用地	9ha
交通機能用地	9ha
危険物取扱施設用地	60ha
緑地	17ha
合計	95ha



大阪沖埋立処分場土地利用計画図

